

こすもす文庫 ④

ロータリークラブ
そのころを求めて

川崎西ロータリークラブ

2003～2004年

会長	齋藤尚雄（電気鍍金）
プログラム委員長	戸張道也（公認会計士）
会報委員長	松橋俊雄（歯科医）



次頁へ

ロータリークラブ そのころを求めて

こすもす文庫

川崎西ロータリークラブ 2003 年 7 月：
2004 年 6 月年度における会長齋藤尚雄
（電気鍍金）の会報より、次の記事をま
とめたものです。

- 第 1 部 会報委員長松橋俊雄（歯科医）
の執筆
- 第 2 部 鈴木清次ロータリーフィロソフ
ィー委員長卓話要約
- 第 3 部 会員 15 分職業卓話要約

要約は会報委員長・松橋俊雄（歯科医）
が行い、編集・補足はプログラム委員長
・戸張道也（公認会計士）が行いました。



コンテンツ

第1部

ロータリーのこころ

会報委員長・松橋俊雄（歯科医）の執筆記事

- (1) 例会出席の意義 …… 8
- (2) ニコニコBOX …… 8
- (3) 会員増強委員会 …… 9
- (4) プログラム委員会 …… 10
- (5) クラブ協議会 …… 10
- (6) クラブ・フォーラム …… 11
- (7) 職業分類 …… 11
- (8) 「手紙」を書きましょう …… 12
- (9) 奉仕の理想 …… 13
- (10) 手続要覧 Manual of Procedure …… 13
- (11) 国際奉仕 …… 14
- (12) 出席規定 …… 15
- (13) ところで、ポール・ハリスって？ …… 15
- (14) ロータリークラブ入会の意義 …… 16
- (15) 決議 23-34 …… 17
- (16) ポール・ハリスの最後のメッセージ …… 18



- (17) ロータリー・ソング …… 19
- (18) 四つのテスト …… 19
- (19) 超我の奉仕 Service, above Self …… 20
- (20) ロータリーの「徽章」 …… 20
- (21) ロータリーの「広報」 …… 21
- (22) ロータリーの「広報」② …… 22
- (23) 「プロバス・クラブ」とは …… 23
- (24) 「質か量か」について 「Rの友」より …… 23
- (25) 研究グループ交換 (GSE) …… 24
- (26) 「奉仕」の翻訳について 「Rの友」より …… 26
- (27) 「魚を与えるより採り方を教えよう」 …… 27
- (28) ロータリーと「地域社会」 …… 27
- (29) 親睦活動委員会 …… 28
- (30) 子供の権利に関する声明 …… 29
- (31) さあ「次」だ！ 編集後記に代えて …… 29
- 《補足》(32) ロータリーの初心をたずねて …… 30

第2部

鈴木清次ロータリーフィロソフィー委員長 卓話要約記事

- (1) 「ロータリーの歴史」 Part 1 …… 35
- (2) 「ロータリーの歴史」 Part 2 …… 35



- (3) 「決議 23-34」 …… 36
- (4) 「市民文化パートナーシップ」について …… 37
- (5) 「RI 規定審議会と女性会員」 …… 37
- (6) 「ロータリー家族委員会」について …… 38
- (7) 「米山月間にちなんで」 …… 39

第3部

会員職業卓話要約記事

- 前田誠司会員 (有) 前田電機製作所 …… 41
- 宮澤功会員 (株) セイコースプリング …… 41
- 原博男会員 (株) 伸原工業所 …… 42
- 田中泰造会員 (有) 田中精工 …… 42
- 鈴木克明会員 「なぜ私の店は繁盛しているか」 …… 43
- 高良明会員 「経理の重要性について」 …… 44
- 山内一弘会員 「なぜ阪神は強くなったか」 …… 44
- 斉藤二郎会員 「社会福祉協議会の組織と事業」 …… 45
- 恒川憲司会員 「交通安全協会の組織と事業」 …… 45
- 芳賀龍壽会員 「電子部品製造管理の工夫」 …… 46
- 野見山紘一会員 「電子装置開発の工夫」 …… 46
- 佐藤幸雄会員 「技術指導の勘どころ」 …… 47
- 小黒久男会員 「書籍出版業について」 …… 47
- 嶋崎欽也会員 「還暦のキリマンジャロ登山」 …… 48



高橋正男会員	「建物施設の保守整備」	……	49
芳賀龍壽会員	「消費税の改正について」	……	49
上形泰俊会員	「『正法眼藏』現成公按について」	……	50
上松義典会員		……	50
鈴木伸一会員		……	51
毛木幹育会員	「多摩川梨の栽培」	……	51
齋藤尚雄会長	「我がメッキ工場の経営」	……	52

《編集後記》	……	53
--------	----	----

《表紙の絵》	『中川一政 金魚』	……	54
--------	-----------	----	----



第1部

ロータリーのところ

会報委員長・松橋俊雄（歯科医）
の執筆記事



前頁へ



次頁へ



(1) 例会出席の意義 (2003年7月18日会報)

「出席」はロータリーの特色のひとつで、会員の資格条件にもなっています。ロータリアンがクラブの例会に規則正しく出席することは、入会の時に受け容れた最も基本的な責務であり、自分がクラブに対して行う最小限の奉仕であり、さらに、その出席率をより高い理想に向かって努力することをロータリーは求めています。

職業分類の原則は、それぞれの業界で地位のある人が選ばれ、クラブ発展のために自分の業界を代表してクラブに反映させ、またクラブを代表してそれぞれの業界に役立たせることなのです。

欠席は、この双方の権利と責務を破棄することになりません。従って、会員はなるべく多くの例会に出席することによってのみ、より多くの知り合いと永続的友情に発展させて、より多くクラブの発展やプロジェクトに関心を持ち、例会という人生の道場で研鑽を積み、職業道徳を高め、世のため人のためより多くの奉仕の理想をたぐり寄せることが出来、さらに有能なロータリアンになり続けることが出来るのであります。

(2) ニコニコ BOX (2003年7月18日会報)



例会場で会員が、自由意志、善意の寄付金を入れる箱です。1936年に大阪RCで初めて実施したプログラム。

会員・家族・事業所等の慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露して喜びを分かち合い、また失敗した時にはユーモアたっぷりに苦笑し例会を賑わせて親睦を増進し、集まったお金は主として奉仕活動に遣われます。

(3) 会員増強委員会 (2003年7月25日会報)

この委員会は、絶えずクラブの充填・未充填職業分類表を検討し、未充填職業分類を充填するために、会員の資格条件に適合した人物の氏名を、幹事を通して理事会に推薦するよう、クラブ会員に積極的に働きかけなければならない。新会員を推薦しクラブの会員増強に寄与することは各会員の責務である。

また、委員会においても推薦に努めなければならない。

クラブを「活性化」させるためには、会員増強と、参画意識の向上が不可欠な命題。では、会員増強や会員の意識高揚のためには一体何が必要なの？ 無論、クラブの「活性化」しかない！



(4) プログラム委員会 (2003年8月8日会報)

この委員会は、クラブ例会や他の会合のためのプログラムを準備・手配する委員会である。立案したプログラムを、会長・幹事・四大奉仕委員会と協議しロータリーの月間・R I・地区の行事に合わせ、バラエティ豊かでバランスのとれた、しかも四大奉仕を具現するものにする事が望ましい。

理事会でスケジュールを承認後は、四大奉仕委員会や会員から担当者を決め、実施にあたらせる。専門職業や新会員による会員卓話は、職業の理解と親睦に極めて有効である。

また、クラブの年間活動プログラムを他の委員会と調整しておく事も必要である。

(5) クラブ協議会 (2003年8月22日会報)

クラブ役員、理事、各委員長が集まってクラブおよび各委員会の活動やプログラムについて、発展的に連絡・調整・協議する重要な会合です。

例会とは別に、夜間など十分な時間を充てることになっています。

地区協議会の直後、7月1日の直後、D G公式訪問の二週間前、公式訪問の時、地区大会終了後、そして



1～2月の頃と、年6回の開催が望ましいとされています。またクラブの会員の出席も要請されています。

(6) クラブ・フォーラム (2003年8月22日会報)

プログラムやクラブ活動などロータリー全般について、会員に情報伝達とより良い奉仕活動のための意見交換を目的とする。クラブ全会員の公式会合で、決議をするものではない。

少なくとも四大奉仕については年4回開催することが望ましいとされ、全員参加で行うものである。

(7) 職業分類 (2003年9月5日会報)

ロータリーでは職業分類の原則を固守している。会員はその職業活動に60%以上を捧げていなければならない。それを地域で認識されている事も必要となっている。クラブは、その規定の下で「職業分類」を「貸与(充填とも言う)」し、会員とする。

毎年8月に発行されている「職業分類表」は、地域内の有益適切な事業や専門職務の充填・未充填の状況を把握し、未充填職業分類を徹底的に調査し、クラブ発展の理論的基礎を築くためのものである。



2001年の規定審議会で、会員は「名誉会員」と「正会員」の二種類となった。1クラブで会員数50名以上の場合、同一職業分類に属する正会員数は、会員数の10%まで認められる事になった。

これは地域社会から広く職業人を入会させ会員増強を図る事がロータリーの綱領推進に叶うからである。

(8)「手紙」を書きましょう (2003年9月12日会報)

馬場「等々力短信」発行人

「手紙」には、受け取った人に書き人をほうふつとさせ、その人柄を偲ばせる雰囲気がある。その点、Eメールとは異なる。文面は同じでも「手紙」の場合、書かれている文字に個性があり、筆記用具、書簡紙、封筒、切手までいろいろである。

平安時代を中心とする貴族社会では、繊細で優雅な美意識をもって筆跡や書写形式はもちろん、手紙の料紙（文字を書くのに用いる紙）にも美を追求し続けていた。

手紙は貰えば嬉しい。現代では、偉い人、忙しい人ほど筆まめようだ。激務の中からよく返事をくれる友人に「馬場流手紙術免許皆伝状」を出したことがある。



1. 思い立ったら即、書くの術
1. 道具立て常備の術
1. 時候挨拶割合、単刀直入の術
1. 悪筆をもって相手を油断させ、かつ雅味に転じて福となす術
1. 忙中苦中に諧謔一笑、砂漠に水遁の術

(9) 奉仕の理想 (2003年9月19日会報)

ロータリー綱領の中にある Ideal of Service の直訳語で、よく用いられる言葉の一つ。

己に天職という使命を与えてくれた社会に、また己の職業を活かし続けさせてもらっている社会に感謝する時、その仕え方（奉仕）の基本として、個人生活・社会生活・職業生活に於いて利己的欲求を最小限に留め、常に最大利他の究極を求め続けていこうとするロータリーの奉仕哲学である。

ロータリーの第一標語「超我の奉仕」の基本思想。

(10) 手続要覧 Manual of Procedure

(2003年9月19日会報)

ロータリー章典から、ロータリー全般に関する基本



的事項について、その方針や解釈、運営、手続等を用い記載した手引き書。

RIの規定審議会が3年毎に開催されるのに合わせて、本書も3年毎に改訂版が発行される。しかし、これも分厚い！

(11) 国際奉仕 (2003年10月10日会報)

ロータリアンが、国際理解・国際親善・国際平和を推進するために実施出来る事すべてを言う。

概念上、それは次の四つに分類される。

- ① 世界社会奉仕活動
- ② 国際レベルの教育・文化交流活動
- ③ 特別月間（2月）とその催し
- ④ 国際的な会合

具体的には、他国の人々、その文化・慣習・業績・抱負および問題を知ることであり、また旅行や世界大会出席などの個人交流であり、読書や文通、他国の人々に役立つクラブ活動やプロジェクト（R財団を含む）に協力することである。

個々のロータリアンとクラブは、そうした目的達成のために積極的に寄与するよう期待されている。

(12) 出席規定 (2003年10月17日会報)

ロータリークラブ会員は、クラブ例会に出席しなければならない。規定の出席率に満たない時は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、会員資格を喪失する場合がある。

○出席義務規定の免除

理事会に対して、書面をもって正当かつ十分な理由を具備して申請する事によって、その会員は一定期間に限り例会出席義務規定の免除が与えられる。これは会員資格を失わないだけで、出席報告には欠席と記録される。

○出席免除

次のような場合、書面による申請で理事会が承認した場合、例会出席を免除し、出席記録に算入せず、出席率算出の会員数にも含まれない。(いずれも本人の希望が前提)

- ① 長期の傷病、RCのない地域への長期の旅行。
- ② R会員暦と会員の年齢の合計が85以上。

(13) ところで、ポール・ハリスって？

(2003年11月7日会報)

Paul Percy Harris (1868. 4. 19 - 1947. 2. 23)



1896年に28歳でシカゴに弁護士事務所を開設。当時のアメリカは社会の変動期で、犯罪、汚職の巣窟で利己主義、悪徳商法が横行していた。

ある日、彼はそれまで求めて掴めなかった「人間の絆」に気づき、一業一人の相互扶助の新しいクラブの構想を抱いた。

専門職業界を一人で代表する事によって社会のためだけでなく、お互いの職業を利用しあう事は、会員同志の親睦と相互扶助に役立ち、特に新会員は新たな友人となり、公正な取引きは信頼感を深める。会員が多くなっていけば、その輪は広がっていく。そのためには会員は「寛容で親睦と友情の精神」にあふれた人でなければならないと感じた。

これが彼のクラブ理念であり、善意と寛容と理解から奉仕へと発展してゆく基礎となった。

(14) ロータリークラブ入会の意義

(2003年11月21日会報)

ロータリークラブは、本人が入会しようと思っても直ぐに入会出来るものではない。会員の誰かが推薦して、会員選挙の手続きを経て、さらにクラブ細則に従って会員の同意が必要である。このようにして入会が



認められたという事は「クラブが真に貴方を必要とし、貴方もそれを承諾した」からである。

その理由は、

- ロータリーが理想とする「奉仕の精神」を貴方の業界に広めて頂くのに、クラブは貴方を最適任者と認めたのであり、
 - クラブの全会員は、貴方の職業的・社会的品行を高く評価し、貴方との親交を深める事を希望し、それによって自分の知らない知識を得る事も出来て、ひいては地域奉仕をさらに広め、互いの人間性も向上させていきたいと願っている。
- という事である。

(15) 決議 23-34 (2003年12月26日会報)

「社会奉仕に関する1923年の声明のこと。ロータリーの地域奉仕の基本的な考え方を示したもので、セントルイス大会で採択された。

初期のロータリーは、社会（地域）奉仕について、個人奉仕か団体奉仕かをはじめ、そのあり方について議論沸騰し、対立が生じていたが、この決議文の採択によって、社会奉仕の概念が決定づけられ、ロータリーの理念が明確になり、今日の発展につながることと



なった。

その内容は「超我の奉仕」を基調として、ただ社会奉仕にとどまらず広くロータリーのあり方、進め方を示唆した長文の声明である。決議文は「活動計画書(期首資料)」に掲載。

我がクラブも活動の支柱としている。詳細は、昨年度特別委員会レポート附記「決議 23-34 について」を参照されたい。

(16) ポール・ハリスの最後のメッセージ

(2003年12月26日会報)

創始者ポール・ハリスの伝承で、私たちの傑出したプロジェクトや世界中の献身的なロータリアンの奉仕は、月刊の「ザ・ロータリアン」に掲載され、私たち自身を勇気づけています。

ポール・ハリスは、1947年の2月号に、ロータリアンに最後のメッセージを残しています。

「1905年には、ロータリーが世界的運動になろうとは予想していませんでした。あまり大きくなりそうにない若木を植える時、人はいつの日かそれが、亮々たる大木に育つであろうと確信できるでしょうか？若葉が初めて萌え出ずるのを見る時、その時こそ、人は



前頁へ



次頁へ

大いなる木陰で夢見ることが出来るのです」。

(17) ロータリー・ソング (2004年1月9日会報)

1999年11月にRI理事会は、ベートーベンの「エグモント序曲」をマーチ編曲したものを「ロータリー公式の歌」と決定した。例会で歌を唄う習慣は1905年から既にあり、例会に和やかな友愛の雰囲気をもたらす効果が大いにあったとされている。

日本で歌われているのは、1935年京都の地区大会で始まった「奉仕の精神」「我等の生業」と、1952年の大阪地区大会の「手に手つないで」そして1953年の「どこで会っても」の4曲。

(18) 四つのテスト (2004年1月9日会報)

RIは職業倫理訓の具現として「四つのテスト」を推奨しているが、実はロータリーのオリジナルではない。旧約聖書エレミヤ書の第九章二三節「慈しみと正義と恵みの業を行う事……」の引用。ロータリーは、奉仕をする団体ではない。奉仕を志す人々の集まりであり、奉仕をしようとする人を養成する場である。そして「職業倫理を重んずる職業人の集まり」である。



しかし職業倫理というのは、形而上の現象でどうにも難解。そこで、現実の職業生活の「規範」として「四つのテスト」が提唱されたのである。

(19) 超我の奉仕 Service, above Self

ポール・ハリス (2004年1月16日会報)

深い洞察力を持った人たちは、ロータリーが「超我の奉仕」という言葉で要約した教えをずっと守り続け、言葉や行為ではっきりと示してきたことを、よく知っています。それだけで、ロータリーの目標に到達出来ないはずがありません。 (“My Road to Rotary”)

(20) ロータリーの「徽章」 (2004年1月23日会報)



最初の徽章



現在の徽章



1905年、シカゴRCのモンタギュー・ベア会員が考案したのが最初の徽章。馬車の輪をイメージしている。

1912年に歯車が採用され、1923年に現在のものなり、1929年にこの徽章の公式仕様が採択された。これは6本の幅と24の輪歯と1つの楔穴のある歯車である。色はロイヤルブルーと金。

米特許局に奉仕団体のマークとして登録されている。会員とその家族が徽章を着用出来るが、営利目的の使用は禁じられている。

(21) ロータリーの「広報」 (2004年1月30日会報)

広報プログラムの目的は、一般社会にロータリーの使命とプログラムへの理解・認識・支援を育成し、ロータリー世界のイメージを高めることにある。つまり広報の目的を達成することで、人類への奉仕を広げるならば、良い意味でのパブリシティは、ロータリーにとって不可欠である。

「決議 23-34」の第6節：

広範囲の社会奉仕活動を行う場合、宣伝を目的としないが、正しい広報を行う。

ロータリーの最善の行動は「世の警鐘者として」の活動であり、他の人々に解決の必要性を悟らせ自覚さ



せる事である。そしてロータリークラブの功績であっても、その成果は協力者に譲り「常に縁の下の力持ち」で天下の先に立たない事を銘記する。

(22) ロータリーの「広報」②

(2004年2月6日会報)

会員の責務：

ロータリアンは、ロータリーの発展と奉仕活動の改善、拡張するために、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているかについて、直接他の人々に知らせ、自分たちのクラブが地域社会に於いてその存在を一層際立たせる力になるようにする。

クラブの責務：

ロータリーの意図と業績を、家族・友人・知人に知らせるよう、ロータリアンに勧める。報道機関と建設的な関係を維持し、奉仕プロジェクトや活動を明らかにするものを、報道機関を通じて広報する。

ロータリーの使命・規模・プログラム・活動などを地域社会の指導者・青少年・関係団体などに認識させるための広報をする。

ロータリーの機関雑誌を利用する。

ロータリー内外で、その活動の声価を損ねるような



事態の防止に努める。

(23) 「プロバス・クラブ」とは

(2004年2月20日会報)

1965年、英国で創設されたのが始まり。かつて専門職や事業に携わっていてリタイヤした人々が、定期的に会合をもち、講演、討論会、見学会、娯楽活動などを実施している。会員の専門活動の継続を援助でき、その経験と技術を社会に役立たせる事もできる、ロータリーの社会奉仕のプログラムである。現在、欧州・豪州・ニュージーランド・カナダ・米国・南ア・日本などにその活動が拡大されている。RIのプロバス・センターは、豪州にある。

(24) 「質か量か」について 「Rの友」より

(2004年3月5日会報)

量が質に変わる場合もある、というご意見の方もいらっしゃる。しかし、自然科学の世界でも、社会科学（人間）の世界でも、質が量に変わる現象ばかりです。質の高い電子製品が市場を支配するように、素晴らしいロータリアン一人を生むことが、入会希望者



を含めて社会貢献の度合いを深める効果は計り知れないと思います。

マザー・テレサの暖かい志は、同じ夢を抱く何万人もの人たちに広がりました。彼女が、現在私たちロータリアンが進めているような増強拡大運動をしたでしょうか？ 私たちは、入会を希望される方の申込み理由や人生観、事業内容などを伺って、双方にとって入会が失望につながらないように努力すべきだと思っております。現実には、なかなかそのようにはいかないのですが、入会后、クラブの質の低さや夢のなさに失望して退会なさる方々も少なくないと耳にすることもしばしばです。

入退会のいずれにも「クラブや会員の質が高い」ことが、その理由であるならば、私たちは胸をはっているべきではないでしょうか？

(25) 研究グループ交換 (GSE)

(2004年4月2日会報)

Group Study Exchange の頭文字。

文化と職業の交流の機会を提供するR財団のプログラム。組織的な旅行、個人交流、ホームステイを通じて国際理解を推進する機会である。ロータリアンのチ



ームリーダーが、専門職務の若い男女チームを異なる国の地域を訪問させる。

このプログラムによって、専門職務経験の浅い若い人々が、その技量と指導力を磨き、地域社会のニーズと国際化の進む職場のニーズに対処出来るようにする。

同時に、この派遣国と受入れ国の間に人道的なプロジェクトを確立させるために、世界社会奉仕 WCS の機会を提供する。そして、それを通じて、健康管理・教育・その他の人道的諸問題の具体的ニーズに取り組む。

期間は 4～6 週間で、次の活動が含まれている。

職業活動 参加者が他国での職業の実際を視察して、それぞれの分野でのアイデアを相互交換する。

文化経験 メンバーが、他国とその国民、施設などを研究出来るようにし、世界各地の多様な文化への理解を推進する。

親睦の機会 メンバーとホストが、親睦と善意の精神で語りあい、意見を交換し、生活を共にして、お互いの問題・抱負・地域の関心事を伝え合い、永続的な友情と理解を培う。



(26) 「奉仕」の翻訳について 「Rの友」より

(2004年4月23日会報)

ロータリーに入会すると、四大奉仕からロータリーソングに至るまで「奉仕」のシャワーを浴びます。

一般的に「奉仕」と云えば、入会するまでは（全てではありませんが）労働、金銭、物資などの「無償供与」を考えがちですので、ロータリーの「奉仕」の意味がなかなかしっくりきません。

やがてロータリーの歴史をひもとくようになって、ロータリーでの「奉仕」は、アーサー・シェルドンの所謂「利己と利他の調和」の事と教えられます。

ここでは、職業倫理訓がどうしても必要となり、初めて「ロータリーは、人間が如何によく生きるかを学ぶところ」と会得出来るようになり、ロータリーとの邂逅にひたすら感謝するようになります。かつて米山梅吉翁は「奉仕」と言わず、最後まで「サービス」で通されたようですが、我が国では「サービス」を「奉仕」と翻訳したために、こんなにも素晴らしいロータリー用語が曖昧な理解のままで今日に至っています。

いよいよRI百年です。ここで乾坤一擲、我が国にふさわしい翻訳を考えてはいかがでしょうか？私も、一般の方々にロータリーの奉仕を説明するのはいささか疲れしました。また、会員の退会の原因の一つにロー



タリー用語のわかりにさがあるのかも知れません。

(27) 「魚を与えるより採り方を教えよう」

(2004年5月14日会報)

“Give a man a fish, and he will eat for a day.

Teach a man to fish, and he will eat for the rest of his life.” - Chinese Proverd

ロータリーで「人道的プログラム」を実施しようとする際に、そのスタンスを表徴する言葉としてしばしば引用されている中国の諺です。

(28) ロータリーと「地域社会」

(2004年6月11日会報)

ロータリークラブは、その地域社会の関心事（ニーズ）に応じた奉仕活動を展開することが望ましい。したがってクラブは、常に地域と遊離しないように定期的にクラブの奉仕活動を分析し、地域社会の真の関心事に取り組むよう配慮しなければならない。

地域社会のニーズに取り組む奉仕プロジェクトを開発するにあたって、次の事が要請されている。

1. あらゆる情報手段を駆使して、地域社会の真の



ニーズを見出す。

2. そのニーズに効果的に対処出来るプロジェクトを企画・実行する。
3. プロジェクト実行にあたっては、クラブ会員の専門的技術・知識を総動員し、かつ地区・RI・R財団などからの、人的、物的資源を活用する。
4. プロジェクトの目標に対して、地域社会ぐるみで支援し、可能ならばプロジェクト実施に地域社会の人々を加える。

(29) 親睦活動委員会 (2004年6月11日会報)

ロータリーでは「R情報」と「親睦」はその活動を維持する上で極めて大きな両輪である。

親睦活動委員会は、例会に於ける会員間の親睦だけでなく、家族・他クラブ会員・友人知人との友情も増進するような諸活動を計画し実施する委員会である。その活動例としては、親睦会・家族会・誕生祝い・趣味同好会・新会員歓迎会・例会ビジターやゲストの応援などがある。また、地区大会や世界大会への家族同伴、家庭集会なども親睦とロータリー推進に有効な手段として推奨されている。



(30) 子供の権利に関する声明

(2004年6月25日会報)

RI 理事会は「子供の権利」に対する RI の姿勢について、次の声明を採択している。

- 1) 子供は、傷きつ易いがゆえに、特別な配慮と保護が必要である。
- 2) 世界中の全ての国に、非常に困難な状況の下に生活している子供たちがいる。
- 3) 全ての子供たちは、平和・尊厳・寛容・自由・平等な環境の下で成人することが出来なければならない。

RI は、以上の事を認識して、全ての子供が、十分な食糧・住居・健康管理・教育を受け、虐待・暴力から守られる権利を有することを保証し支援する。世界中のロータリークラブは、人種・信条・国籍に関わりなく、全ての子供たちのこれらの権利を保護することに献身する。

(31) さあ「次」だ！ 編集後記に代えて

(2004年6月25日会報)

夜来の雨がしとしとと降っているようだ。気分は減るばかり。せまい路地を、濡れないように小走りで



歩きながら、ふと思いきりこしてみる。

「いい事もあったが、イヤな事のほうが多かった。」

狭い隙間を埋めていく延々と続けてきた作業に疲労困憊しきっている自分の様子が見える。けれども、彼らは知っている。7月になると、それが何でもなかったかのようにしなやかに立ち直り、そして呟く自分を。

さあ「次」だ！ 頑張れロータリアン！

《補足》

(32) ロータリーの初心をたずねて

小堀憲助〔要約：戸張〕

〈ロータリーの理念〉

ロータリーの思想の世界にあっては、複数のギアが存在し、それが複雑に噛み合わさって、ロータリーの世界が成り立っております。そのなかで一番大きいギアが2枚あります。その2枚のギアが抜けますといわゆる〈職業奉仕団体たるロータリー〉ではなくなってしまふわけです。

そのギアは、片一方は例会出席、いま一方は職業分類、この2つであります。

また職業奉仕はロータリーの本質をなす理念であります。職業に貴賤なし。この原則を理解できる人が良



質のロータリアンなのです。

〈職業分類・一業一会員制〉

ロータリーは親睦の上ののった理屈です。理屈の内容イコール職業奉仕であります。ロータリアンは、その得た理屈をクラブ活動の中ばかりでなくて、社会的なあらゆる場で親睦の場に乘せていただきます。

親睦ということは、おしゃべりをする事。話し合いをすることは相互扶助に通ずる。相互扶助は世のため、人のためだ。

〈精神的相互扶助〉

話し合い運動は、国際奉仕や社会奉仕に及ぶのです。心と心の交流。心を育てるために青少年を交換するのです。話し合い運動の延長上に青少年交換をやっている。

ロータリーの職業奉仕というのは「清い金を稼いでこい」ということなんであります。人の幸せを伸ばしてやる。そういうときにロータリーの奉仕の機会をわれわれは発見する。

〈例会出席〉

例会に集まって、会員同士で相談をし合って、自分の職場に戻る。だからロータリアンにとって例会出席なくしてロータリーなしといわねばなりません。ロータリアンは他のロータリアンと孤立しては成り立たな



いのです。クラブの会員が相互扶助をやるのはこのためです。

その上一業一会員制の原則があります。その人を通じて、同業者にロータリアンの商法の正当性、優秀性が示されなければならない倫理な義務が、ロータリアンには課せられているわけであります。

ロータリーの職業奉仕は例会出席なくしては、あり得ない。

〈一業一会員制〉

(アラバマ州バーミングラム・クラブの研究。一業一会員制の本質如何。)

「ロータリーが、皆さんを皆さんの職業における、ロータリーの代表としてお送りしているのだ」皆さんが職業の代表なんじゃないのです。皆さんをロータリーの代表としてお送りしている。われわれは例会においてアイディアを交換しておる。職業人の倫理的に正しい商法という理念を追求しておる。その高次な考え方を、ロータリーの代表として自分の職業分野に伝えるべき義務を持った人なんだ。つまりロータリーの代表としての義務があるわけであります。

ロータリーの綱領に、「職業上の高い倫理基準を確立すること」が第一点。これが職業奉仕に関する部分。

第二点に「職業に貴賤なし」(あるゆる有用な職業



に価値あることということ認識すること)。

第三点に「職業を天職と心得よ」(自分の職業を社会に奉仕する契機として権威あらしめること)。

〈ロータリーにおける均一的平等の原則〉

ロータリアンとロータリーに入っていない人ほかの職業人、社会人との関係は平等なのです。だから一業一会員制というのは、いかなる意味においても、人と人との間に格差をつける原則ではない。

従来縦の一業一会員制の原則を捨てて、本当の、いわゆる横の、つまり均一的平等の一業一会員制の原則に立ち戻り、そして職業奉仕の理念を追求する必要があるだろう……こういうことを申し上げたいわけがあります。

[千種会・名川ロータリークラブ講演会より・昭和46年5月14日]



第2部

鈴木清次（計量器販売）

ロータリーフィロソフィー 委員長卓話要約



前頁へ



次頁へ



(1) 「ロータリーの歴史」 Part 1

(2003年12月5日会報)

家族月間について、これまでもロータリーでは2月の第2週を「家族週間」としていましたが、今年から12月を「ロータリー家族月間」として、R運動の基本である家族を見直そうという月間に決めました。言うまでもなく「家族」はクラブ奉仕の根源であります。

さて「ロータリーのミニ歴史」Part 1として、草創期からの流れをご紹介します。

1830年、溝口村に初の寺子屋（識字率向上）

1850年、シカゴ市民はおよそ3万人。

1868年、ポール・ハリス誕生。米山梅吉誕生。

1905年、ロータリークラブ創立。翌年、綱領に市民の利益を考える項を追加（社会奉仕）。

1911年、全米RC連合会で2大標語を採択（奉仕の精神の確立）。

1918年、米山梅吉遣米使節団でダラス泊でRC出席。福島喜三次と出会いロータリーを知る。

(2) 「ロータリーの歴史」 Part 2

(2004年2月6日会報)

ロータリーは、アメリカの土壌で生まれ育ったもの



で fellowship（仲間意識）を強く反映していましたが日本には明治維新以降そうした気運は少なかったようです。そうした中で 1920 年に日本で初の東京 RC が誕生しました。1922 年には世界に 1,000 を超えるクラブが誕生し、国際ロータリー：Rotary International という名称も出来ました。

しかしこの頃は「理論・個人奉仕派」と「実践・団体奉仕派」が対立し分裂の危機を迎えていました。それを回避したのが、1923 年に採択された「決議 23-34」で、RI の役割・クラブの位置づけを明確にしたものでした。

(3) 「決議 23-34」 (2003 年 12 月 26 日会報)

社会奉仕に関する 1923 年の声明のこと。ロータリーの地域奉仕の基本的な考え方を示したもので、セントルイス大会で採択された。

初期のロータリーは、社会（地域）奉仕について、個人奉仕か団体奉仕かをはじめ、そのあり方について議論沸騰し、対立が生じていたが、この決議文の採択によって、社会奉仕の概念が決定づけられ、ロータリーの理念が明確になり、今日の発展につながることとなった。



その内容は「超我の奉仕」を基調として、ただ社会奉仕にとどまらず広くロータリーのあり方、進め方を示唆した長文の声明である。

我がクラブも活動の支柱としている。

(4) 「市民文化パートナーシップ」について

(2004年3月19日会報)

平成12年に発足したNPO。事業は「つなぐ、広げる」「ささえる」「そだてる」「たたえる」の四つの柱で個人や企業291名の会費の拠出で運営されています。

《補足》会員は音楽・美術・花・舞踊等の文化活動で協力。

☎ 044-221-8107：川崎市文化財団内。

(5) 「RI 規定審議会と女性会員」

(2004年6月4日会報)

ロータリーで「女性会員」の問題は、1916年から提案されていた。1970年代（米で公民権運動が盛んな時期）に激論が沸騰。男子のみとする会員資格が米国内法に抵触するとしてRIが敗訴。RIの姿勢は「各国がその哲学と信念で判断すべき」とした。

1989年の規定審議会（シンガポール）で、女性会員の入会を容認。しかしイスラム圏など所在地域の法



前頁へ



次頁へ

律を優先する条項を加えた。

すなわち、ロータリーの現実対応主義。時流としては、女性会員を受け容れざるを得なくなるのではないだろうか？今年の規定審議会は、例年・出席・クラブ運営などで従来より緩和？された提案が多い。

(6) 「ロータリー家族委員会」について

(2003年8月1日会報)

今年度RIのマジニアベ会長は「ロータリー家族」・「貧困の軽減」・「保健」・「識字率」を強調事項と唱えています。

この中の「家族委員会」という新しい考え方について要点を解説します。これは、委員会の設置によって、クラブを暖かさと思い遣りのある雰囲気を作ろうというもので、その対象となるのは、会員本人だけではなく、会員家族、元会員や物故会員の家族にも手をさしのべ、クラブの活動や親睦の輪に積極的な参加を促す事はロータリー活動をさらに効果的にしていこうとの趣旨です。



(7) 「米山月間にちなんで」

米山記念奨学会理事（2003年10月3日会報）

米山奨学金制度は、1967年に、日本で学ぶ外国人留学生を対象に発足した、心を育てる国際奉仕・ロータリアンと奨学生を結ぶカウンセラー制度を特徴とする事業です。

例会出席などにより文化慣習を学び社会貢献の意識を育成する目的で、知的貢献性（学業・異文化理解・コミュニケーション能力など）が要請されています。

2002年から、大学（指定校）の推薦を承けて選考するようになりました。

当クラブの寄付額は26,000円（全国平均14,461円）です。

これからも頑張りましょう。



前頁へ



次頁へ

第3部

会員職業卓話要約



前頁へ



次頁へ

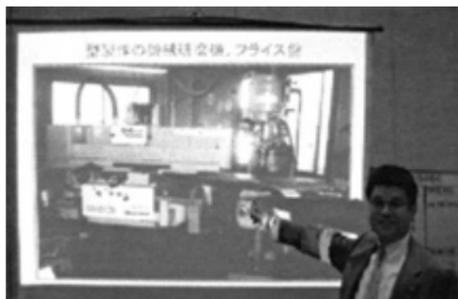


前田誠司会員 (有) 前田電機製作所

(2003年7月25日会報)

製造業として40年以上にわたり「金属プレス加工」を行っています。

金属、非鉄金属、プラスチック、ベークライト積層板、ファイバー等の材料を、金属を用いてプレス機械で加工します。当社は100%受注生産です。下請けですから、品質管理／納品厳守による信用が一番です。



宮澤功会員 (株) セイコースプリング

(2003年7月25日会報)

昭和39年創業、計測機器のヒゲ全舞（ゼンマイ）の製造・販売。

中国福建省に自社工場を設立して10周年になりました。微少精密組立て作業の依頼生産で、イヤホン・ヘッドホンの組立て、



前頁へ



次頁へ

携帯電話の端子組立でも行っています。

「共に働き、共に汗して、共に喜び、共に生きる」
が経営理念です。

原博男会員 (株) 伸原工業所

(2003年8月29日会報)

昭和24年創業、32年に株式会社にし、下野毛に
本社工場を、平成2年に岩手県に東北工場を建設。



自動倉庫やコンピュータ制御の大型機械を導入し、
職場環境の健全化と社員のチームワークを大切に頑張
っています。

田中泰造会員 (有) 田中精工

(2003年8月29日会報)

社員19名、高度精密多機能の機械を備えて、音響・
防災・通信機器等の部品を製作・加工しています。時
代の推移で扱う製品も変わりますが、海外の低コスト



前頁へ

42



次頁へ

目次に戻る

との競合は大変厳しいのが現状です。



鈴木克明会員 「なぜ私の店は繁盛しているか」

(2003年9月26日会報)

写真館は、不況業種の一つで、全国では毎年5%の減少を続けていますが、写真業界全体としては成長し



ています。服装も含めたトータルサービスなどで工夫をこらし「お客さんのために写真を撮ろう」をモットーとして毎朝のミーティングでは社是を読み上げています。私は全国4,300の写

真館協会で広報委員長をしており、繁盛している店の訪問取材して、どんなニーズがあるのか調査して参考にしております。

高良明会員 「経理の重要性について」

(2003年9月26日会報)

経理を英語で言うと Account。本来「説明」という意味です。

企業の経営者は、決算書などで業況を説明出来なければなりません。そのためには、少なくとも決算書を読めるように。経理は「経営管理」や「経済理財」の略語です。



山内一弘会員 「なぜ阪神は強くなったか」

(2003年10月24日会報)

阪神が強くなったのは、カネを遣ったから。相手がイヤがる選手を獲るのは難しいが、堅実経営の阪神がやった。高級の選手は何か効果をもたらすし、野村監督が育成した選手たちも伸びてきている。桧山も私がコーチ時代は伸びなかったが、金本らの練習態度に感化されて変わった。

星野監督は、選手にプレッシャーを与えず、メンタル面を耳元で囁く。それが奏効している。技術はどの選手も持っているので、自分の能力を出す事だけ考えればいいが、結果に目がいってしまう。「ヒットを打て」



と言わずに「打ちやすい球を打て」と言えばいい。「〇〇はダメ」とか「〇〇はするな」は監督コーチには禁句。

齊藤二郎会員 「社会福祉協議会の組織と事業」

(2003年11月7日会報)



昨年度5月に「社会福祉の変遷」をお話しましたが、今回は現況について。配布したパンフレットをご覧頂くとわかりますが、介護保険適用者だけでなく、社会が「互助の精神」をもって対応するように多角的な事業に取り組んでおります。

恒川憲司会員 「交通安全協会の組織と事業」

(2003年11月7日会報)

会員数は27,380人。収益体系では一般のボランティア団体と異なり利益事業は課税対象となりました。交通指導員をはじめ、違法駐車・違法駐輪に対する啓蒙運動にも積極的に取り組んで



おります。

一寸ご注意！酒気帯び運転の罰則が強化されましたが、これは自転車にも適用されています。

芳賀龍壽会員 「電子部品製造管理の工夫」

(2003年11月28日会報)

電子というのは、半導体機器をコントロールするものとして、電気と判別しています。

製造業は「材料調達と加工によって対価を得る」業種で、コスト・納期・品質が3大要素です。その管理とは、PDCAのサーキュレーションです。



野見山紘一会員

「電子装置開発の工夫」

(2003年11月28日会報)

産業機械をはじめ多様な顧客のニーズに対応して、モーション・コントロールのシステム構



築を目指しています。動力は油圧が主力でしたが、最近では環境問題があり水圧・空圧に目が向けられています。今後の目標は「便利屋」としてネットワーク型の事業展開をしていきたいと思えます。

佐藤幸雄会員 「技術指導の勘どころ」

〔入会卓話〕（2003年12月26日会報）



中小企業大学校をベースに技術指導をしています。

現場調査・分析・企業説明という流れで、講義と現場、つまり知識と実践のギャップを埋める事です。業種が異なっても管理の基本は同じです。5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）をスローガンに「管理者の意識が入った実践」を目指します。

小黒久男会員 「書籍出版業について」

〔入会卓話〕（2003年12月26日会報）

本を出版する際の見積りについて、高良会員の「会計のプロが教える経営に強くなる本」を例にご紹介し



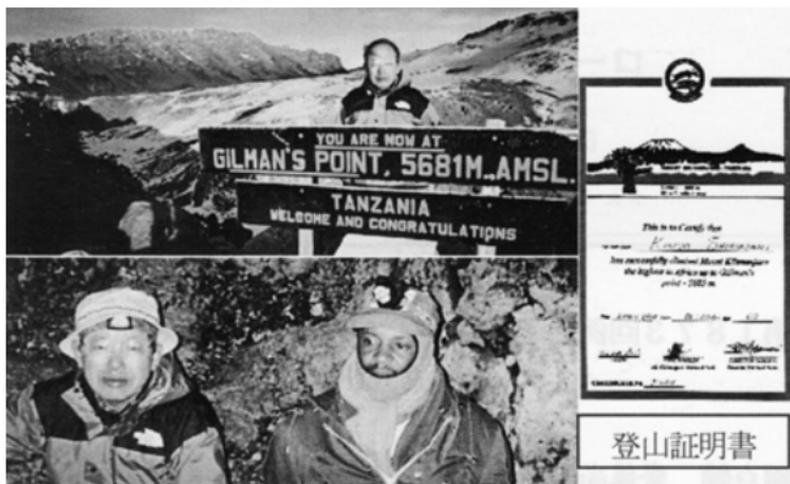
ます。本は本文のほかに、カバー・扉・花布・見かえし・スピンなどあり、本体価格 1,800 円とすると 2,900,000 円かかります。これで 5 千部刷ると 1,098 円で出来ますから、返品率 3% 以下ならば固定経費が償却出来るという計算になるわけです。



嶋崎欽也会員 「還暦のキリマンジャロ登山」

(2004 年 1 月 23 日会報)

山登りは 50 年来の趣味で、ふとしたキッカケから



一昨年アフリカ大陸の最高峰キリマンジャロに登ることになりました。実は静岡銀行を辞めたのも、エベレスト登頂をしたかったからです。

年齢(還暦)も考え標高 5,681m まで行って来ました。

高橋正男会員 「建物施設の保守整備」〔入会卓話〕

(2004年2月27日会報)



私は栃木県の農家の出身で、家財を火災で消失した時には辛酸を嘗めましたが、小学校時、親戚の大工で手伝い仕事をし、短大卒業し栄養士となり、その後バブルの頃現在の建物営繕の仕事を始めました。

建物の良し悪しは現場の監督の差で出ます。一級建築施工管理技士の有資格者で最も現場に強いでしょう。

芳賀龍壽会員 「消費税の改正について」

(2004年2月27日会報)

VAT(付加価値税)は諸外国に比して日本は低くなっています。消費税は、基礎年金・老人医療などに振り向けられています。神奈川県には1,392億円、川



崎市 94 億円が交付されています。

しかし、国債依存度、滞納、特例などの問題を抱えてもいます。

上形泰俊会員 「『正法眼藏』現成公按について」

(2004年3月5日会報)

曹洞宗開祖の道元禪師は先ご
ろ生誕八百年を迎えましたが、
中国（宋）から帰国後、建仁寺
で普勤座禪儀を説き、1230年頃
「正法眼藏」の「現成公按」を和
文で著わしました。



『一切衆生 悉有佛性』を、「一切の衆生は、悉有であり佛性である」と説きました。佛道を習う事については、配布した文献にあります。それは参禅にあります。参禅は身心脱落を求める事で、それは「五欲（五官の欲望）」と「五蓋（貪欲、怒り、蒙昧、躁鬱、疑心暗鬼）」を除く事にあります。

上松義典会員〔入会卓話〕 (2004年4月2日会報)

(株) 上松合金製作所は 45 年前に父が創業。リコ



一中心だったが、その後、会社
四季報で顧客を開拓。現在は7
割が外注。アルミ製品を砂鋳造
をするのが主。ピンホール防止
には合金にし急速に冷却する。



鈴木伸一会員 (2004年4月2日会報)



大学卒業後、マツダのディー
ラーに就職。その後製造業に転
進し自動車用品の合成樹脂製品
を製造。

また不動産部門では、地域密
着をモットーに。

毛木幹育会員 「多摩川梨の栽培」

(2004年6月25日会報)

梨畑は溝口1反8畝。長十郎
は花粉を採取するために1本の
こしであるが、収穫時期をずら
すために、胴木から魚骨状に剪



定する。交配は 20 ～ 25℃が最適。2 週間後に種子の間引きをし、現在は 45 mmほど。あと 40 日で収穫時期を迎える。

齋藤尚雄会長 「我がメッキ工場の経営」

(2004 年 6 月 25 日会報)

現在は川崎区の浅野町。公害（排水・排気等）対策を工業団地共同で実施。社是は「信頼される人。魅力ある人」。温度や pH の制御は自動だが、治具の装着は人手。品質管理は全数検査を行っている。



《編集後記》

一年間のプログラム委員会を省みて、講演をお願いした方々への感謝と著書等の再読のよすがにしたいと考え、この小冊子を作りました。

戸張道也(公認会計士)



《表紙の絵》



中川一政 金魚

中川画伯は 1893 年（明治 26 年）東京本郷に生まれました。1949 年（昭和 24 年）真鶴町にアトリエ



前頁へ

54



次頁へ

目次に戻る

を構え「福浦」・「駒ヶ岳」などの制作に励み、油彩だけではなく、岩彩（日本画）書・篆刻・陶芸・装丁など、その創作活動は自由奔放で多方面に渡っています。

また屈託のない文章で知られる随筆、紀行文など著書も多く、1975年（昭和50年）82歳で文化勲章を受章しました。

1989年（平成元年）3月2日真鶴町立中川一政美術館が開館されましたが、真鶴半島自然公園の樹林に囲まれ、落ち着いた雰囲気にも包まれたこの建物は、平成2年に「第15回吉田五十八賞」（建築設計）受章。

1991年（平成3年）2月5日97歳11ヶ月で死去。

中川一政の言葉 著書『うちには猛犬がゐる』より

「ゴッホ、セザンヌの画面からはいろいろな事を教わった。今になって改めて感謝しなければならない。それは独学の精神である。牛馬や鶏は人に飼われている。それは自分で餌食を探さない。与えられて満足している。猛獣はそうではない。どうしても満足できず、自分で原野にさまよい出て戦って餌食を得る。始終危険に身をさらしている。独学の精神とはそういうものである。そうしなければおさまらぬ腹の虫を持っているのが芸術家と思う。」（戸張）



こすもす文庫 ④
ロータリークラブ
そのころを求めて

発行 2004年12月8日

*

発行者 戸張道也

*

発行所 戸張会計事務所

〒213-0002 川崎市高津区二子 5-1-15

電話 044-833-4361 (代)

FAX 044-844-6035

ホームページ URL : www.tobari-kaikei.com

キーワード検索 : 戸張会計・tobari-kaikei・
とばりかいけい・トバリカイケイ

*

編集・制作 有限会社田園都市出版

電話 042-780-2405



前頁へ



次頁へ

目次に戻る

戸張 公認会計士 事務所 税 理 士

税務・経営・監査

こすもす簿記システム(当社開発自計用簿記)導入指導

〒213-0002 川崎市高津区二子5-1-15 高津駅3分

TEL 044-833-4361(代) FAX 044-844-6035

HPアドレス(URL) : www.tobari-kaikai.com

こすもす教室

パソコン、生花、茶道、料理、英会話教室などにご利用いただけます。午前、午後、夜、曜日別月契約となります。

所在地：川崎市高津区二子5-1-15 高津駅3分

お申し込みは戸張会計事務所：電話 044-833-4361

こすもすホール(貸ホール)

www.cosmos-shop.com/hall1/

ダンス、バレエ、リトミック、気功、ピアノ、カラオケ、コーラス、パソコン教室、簿記教室、料理教室などにご利用いただけます。

午前、午後、夜、曜日別月契約となります。

ひさもと：川崎市高津区久本2-2-1 洗足学園手前

さかど：川崎市高津区坂戸1-6-9 イトーヨーカ堂先

お申し込みは戸張会計事務所：電話 044-833-4361

スパゲッティとドリアの店 ファーム

川崎市高津区久本2-2-1

洗足学園手前交差点角

TEL 044-865-8118

各種パーティ、ご宴会のご予約を承ります。



前頁へ



次頁へ

目次に戻る



中川一政 金魚